

関係代名詞 <ページ6>

(^▽^)φ ここまでのことをまとめるよ～！ φ(^▽^)

◆「関係代名詞」のポイント◆

① 「修飾」の一種である。

→ 英語は 名詞 修飾部 / 日本語は 修飾部 名詞 という形(語順)になります。

② 「主格」と「目的格」の2種類がある。

本当は「所有格」という第3の関係代名詞もあるんだけど、これは高校の英語で習う時の楽しみ♪

③ 関係代名詞を使って2つの英文を1つにつなぐ場合は、先行詞になる 名詞 をまず探し、それと同じ人(あるいは人間以外のもの)を指す語句を、関係代名詞に変えて、つなぐ。

↳ やっぱり目が痛いのでちょっと地味にしました…平気な人は自分で蛍光ペン等で塗ってねφ(. .)

④ 「先行詞」とは、「関係代名詞を使った修飾部」によって修飾されている 名詞 のこと。

⑤ 先行詞が人間の時 | 人間以外の時 で違いがある。

	先行詞が人間	先行詞が人間以外
主格	who / that	which / that
目的格	who (目的格は、ひと昔ふた昔前には whom というのも習ったけど、今は中学ではほぼ習わないようです) / that 《省略可能》	which / that 《省略可能》

★目的格の《省略可能》ということについては、次のページで詳しく。

★主格・目的格、人間・人間以外、すべての場合に使える「ワイルドカード」みたいな that という関係代名詞があります。これは便利そうだね o(・▽・)o♪

でも、だからといって、どんな問題にも that で答えとけばいいや！ということにはならないのです…

試験問題では、ほぼ必ず、『that 以外の関係代名詞を使って答えること。』と注意書きがされています。

だから、who と which の区別ができて正しく書けるように、ちゃんと覚えておいてねφ(^o^)

ちなみに…

☆ all(すべての～) / any(どの～でも) / the only(ただ1つの～) などの語句

☆ the first(最初の～) / 他、「何番目の～」などの語句

☆ 形容詞・副詞の最上級(最も～、いちばん～)

などの語句が 先行詞 に付けられている時は、

関係代名詞は who や which よりも that のほうが好まれると言われています(^▽^)b

(≥▽≤) < ここまでの内容、つかめたかな？

関係代名詞は、中学レベルの英語の最大の山場！φ(. ;) 身につけるのは大変だと思います。

ここまで何となく理解できた人は、さらに一步、上の段階へ…

自信を持って使いこなせるように、「イチから(初級)」の練習問題にぜひ try してみてくださいね♪